

防護柵の設置マニュアル(ワイヤーメッシュ編)

1 用意するもの



<必要な資材>

- ・ワイヤーメッシュ(幅 1.2m×長さ 2.0m)
- ・異形棒鉄筋(太さ 13mm)
- ・針金(14～16 番線)

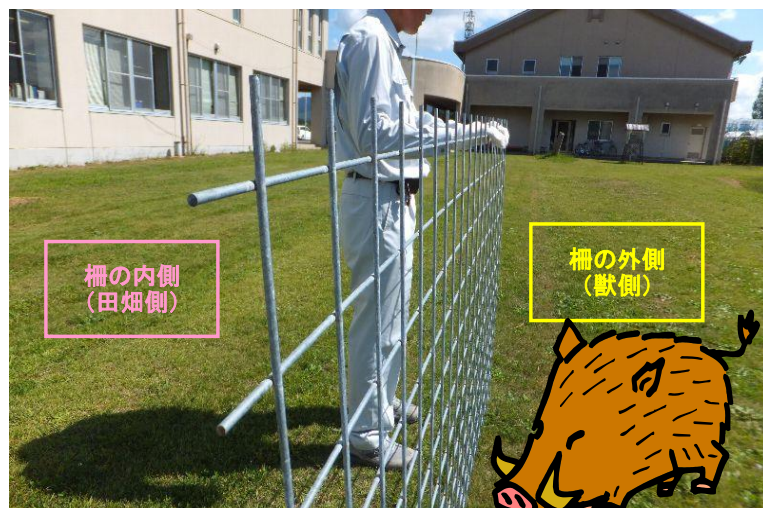
<必要な道具>

- ・ハンマー, 打ち込み器
- ・ペンチ, クリッパー
- ・シノ, ハッカー
- ・スコップ等(整地用)

2 設置の手順

① 設置場所のルート決め	② 設置場所の草刈・整地	③ 資材の仮置き	④ 支柱の打ち込み	⑤ ワイヤーメッシュの固定
● 水田や畑を完全に囲うこと ● 設置後の管理が容易な場所に設置	● 柵の両側 1mは通路とする ● 草刈や整地等を行う	● ワイヤーメッシュの裏表を確認し、一定の向きに置いていく	● ワイヤーメッシュの重ね代を確保して支柱を打ち込む	● ワイヤーメッシュを針金で3カ所しっかりと固定する

3 ワイヤーメッシュの向き



ワイヤーメッシュの縦格子が、水田や畑の外側となるように設置すること。

【理由】 横格子が内側にあれば、イノシシが横格子を噛んで引っ張っても、縦格子で守られて引きちぎられないため。

【豆知識】 イノシシの幼獣を入りにくくするためには、ワイヤーメッシュの下段の目合いが、10cm以下のものを使用するのが望ましい。

4 設置のコツ



- ワイヤーメッシュと地面に隙間をつくらないように、足でしっかり踏み込んで、地面と密着させる。
- 隙間がないようにすることで、獣による掘り返しを防ぐ。(イノシシが柵の下側からもぐり込むのを防ぐのが重要。)

- ワイヤーメッシュの縦格子を重ね合わせ、支柱にしっかり固定する
- 支柱は、イノシシが体当たりしても良いように、守るべき水田や畑側に打ち込むこと



5 完成図(中間支柱を設置した場合)

